

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月4日

上場会社名 株式会社 紀陽ホールディングス
 コード番号 8415 URL <http://www.kyfg.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 片山 博臣
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ企画部長 (氏名) 米坂 享
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日 特定取引勘定設置の有無 無

上場取引所 東大

TEL 073-426-7133

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	21,911	—	3,185	—	3,712	—
20年3月期第1四半期	21,547	10.4	3,698	△6.9	3,575	△0.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	5.02	3.93
20年3月期第1四半期	4.87	4.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	3,456,865	141,536	4.0	142.94
20年3月期	3,513,031	146,049	4.1	148.12

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 139,705百万円 20年3月期 144,214百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、2ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	43,300	△0.7	7,800	8.5	6,000	△19.2	7.63
通期	86,800	△3.1	16,700	57.3	13,400	0.3	17.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 739,425,155株 20年3月期 739,425,155株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 548,679株 20年3月期 539,105株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 738,879,554株 20年3月期第1四半期 734,083,111株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料における業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20 年 3 月期					
第一種優先株式	—	0 00	—	14 00	14 00
第 4 回第一種優先株式	—	0 00	—	14 00	14 00
第二種優先株式	—	0 00	—	10 00	10 00
21 年 3 月期					
第一種優先株式	—				
第 4 回第一種優先株式	—				
第二種優先株式	—				
21 年 3 月期 (予想)					
第一種優先株式		7 00	—	7 00	14 00
第 4 回第一種優先株式		7 50	—	7 50	15 00
第二種優先株式		5 00	—	5 00	10 00

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日～平成20年6月30日）における連結経営成績につきましては、貸出金利息や有価証券利息などによる資金利益の増加や、個人年金保険販売などによる役務利益が順調に推移しましたことから、連結粗利益は前年同期比51百万円増加し、159億25百万円となりました。また、貸倒引当金戻入益を特別利益に15億10百万円計上するなど、不良債権処理にかかる費用が当初の見込みを下回りました。この結果、四半期純利益は、前年同期比1億37百万円増加し、37億12百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における連結財政状態については、総資産が3兆4,568億円、純資産が1,415億円となりました。

貸出金につきましては、2兆2,391億円（前連結会計年度末比254億円減少、前年同期末比1,031億円増加）となりました。事業性貸出金や住宅ローンは堅調に推移しておりますものの、地方公共団体向けの融資残高が減少しております。

預金・譲渡性預金につきましては、3兆2,174億円（前連結会計年度末比97億円減少、前年同期末比789億円増加）となりました。個人預金や一般法人預金は着実に増加しておりますものの、金融機関預金や公金預金が減少しております。

また、有価証券につきましては、9,288億円（前連結会計年度末比49億円増加、前年同期末比167億円増加）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表しました連結業績予想からの変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はございません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

・減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はございません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
現金預け金	59,436	67,332
コールローン及び買入手形	35,808	20,751
債券貸借取引支払保証金	49,646	103,081
買入金銭債権	6,180	6,395
商品有価証券	2,857	2,860
有価証券	928,848	923,880
貸出金	2,239,198	2,264,622
外国為替	1,595	1,512
その他資産	59,477	49,808
有形固定資産	39,420	40,079
無形固定資産	18,090	16,924
繰延税金資産	31,271	32,049
支払承諾見返	24,296	25,355
貸倒引当金	△ 39,261	△ 41,622
資産の部合計	3,456,865	3,513,031
(負債の部)		
預金	3,135,067	3,124,304
譲渡性預金	82,404	102,926
コールマネー及び売渡手形	—	2,304
債券貸借取引受入担保金	5,815	18,287
借入金	22,369	22,466
外国為替	20	62
社債	16,000	16,000
その他負債	27,297	52,940
退職給付引当金	1,386	1,621
役員退職慰労引当金	72	84
預金払戻損失引当金	507	552
その他の偶発損失引当金	92	77
支払承諾	24,296	25,355
負債の部合計	3,315,329	3,366,982
(純資産の部)		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金	64,632	64,632
利益剰余金	36,476	35,662
自己株式	△ 113	△ 111
株主資本合計	159,345	158,533
その他有価証券評価差額金	△ 19,639	△ 14,317
繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 0
評価・換算差額等合計	△ 19,640	△ 14,318
少数株主持分	1,830	1,834
純資産の部合計	141,536	146,049
負債及び純資産の部合計	3,456,865	3,513,031

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日
経常収益	21,911
資金運用収益	16,578
（うち貸出金利息）	（ 12,595）
（うち有価証券利息配当金）	（ 3,827）
役員取引等収益	3,371
その他業務収益	1,701
その他経常収益	259
経常費用	18,725
資金調達費用	3,036
（うち預金利息）	（ 2,604）
役員取引等費用	976
その他業務費用	1,713
営業経費	10,091
その他経常費用	2,908
経常利益	3,185
特別利益	1,868
特別損失	410
税金等調整前四半期純利益	4,643
法人税、住民税及び事業税	152
法人税等調整額	776
少数株主利益	1
四半期純利益	3,712

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）
該当事項はございません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）
該当事項はございません。

【参考】前四半期に係る連結財務諸表

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
経常収益	21,547
資金運用収益	15,525
（うち貸出金利息）	(11,831)
（うち有価証券利息配当金）	(3,227)
役務取引等収益	3,396
その他業務収益	1,773
その他経常収益	851
経常費用	17,849
資金調達費用	2,618
（うち預金利息）	(1,945)
役務取引等費用	984
その他業務費用	1,219
営業経費	9,869
その他経常費用	3,158
経常利益	3,698
特別利益	963
特別損失	91
税金等調整前四半期純利益	4,570
法人税、住民税及び事業税	150
法人税等調整額	842
少数株主利益	0
四半期純利益	3,575

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

＜その他の参考資料＞

平成21年3月期第1四半期決算について

1. 平成21年3月期第1四半期の業績概要

① 紀陽ホールディングス連結

(単位：百万円)

	平成21年3月期 第1四半期 (a)	平成20年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)	平成21年3月期 通期予想値
連結粗利益	15,925	15,874	51	
資金利益	13,541	12,907	634	
役務取引等利益	2,395	2,411	△ 16	
その他業務利益	△ 11	554	△ 565	
営業経費(△)	10,091	9,869	222	
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 335	335	
不良債権処理額(△)	1,929	2,786	△ 857	
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	2,015	△ 2,015	
株式関係損益	△ 629	△ 415	△ 214	
経常利益	3,185	3,698	△ 513	16,700
特別損益	1,457	871	586	
うち貸倒引当金戻入益	1,510	—	1,510	
税金等調整前四半期純利益	4,643	4,570	73	
法人税、住民税及び事業税(△)	152	150	2	
法人税等調整額(△)	776	842	△ 66	
四半期(当期)純利益	3,712	3,575	137	13,400
与信費用合計(△)	92	1,488	△ 1,396	

- (注) 1. 連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役務取引等収益－役務取引等費用)
 ＋(その他業務収益－その他業務費用)
2. 平成21年3月期第1四半期の一般貸倒引当金繰入額は△4,291百万円となり、個別貸倒引当金繰入額2,780百万円とネットし、1,510百万円を特別利益(貸倒引当金戻入益)に計上しております。
3. 与信費用合計＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－償却債権取立益－貸出関連に係る貸倒引当金戻入益
4. (△)は損失項目です。

当第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)の連結経営成績につきましては、貸出金利息や有価証券利息などによる資金利益の増加や、個人年金保険販売などによる役務取引等利益が順調に推移しましたことから、連結粗利益は前年同期比51百万円増加し、159億25百万円となりました。また、貸倒引当金戻入益を特別利益に15億10百万円計上するなど、不良債権処理にかかる費用が当初の見込みを下回りました。この結果、四半期純利益は、前年同期比1億37百万円増加し、37億12百万円となりました。

なお、四半期純利益につきましては、平成21年3月期通期業績予想に対して、27.7%の進捗となっております。

② 紀陽銀行単体

(単位：百万円)

	平成21年3月期 第1四半期 (a)	平成20年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a-b)	平成21年3月期 通期予想値
業 務 粗 利 益	15,051	15,166	△ 115	
資 金 利 益	13,452	12,949	503	
役 務 取 引 等 利 益	1,777	1,841	△ 64	
そ の 他 業 務 利 益	△ 178	375	△ 553	
経費(除く臨時処理分)(△)	9,267	9,275	△ 8	
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	△ 329	329	
業 務 純 益	5,784	6,221	△ 437	
うちコア業務純益	5,695	5,481	214	
臨 時 損 益	△ 2,267	△ 2,019	△ 248	
不良債権処理額(△)	1,673	2,451	△ 778	
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	1,924	△ 1,924	
株 式 関 係 損 益	△ 637	△ 323	△ 314	
そ の 他	43	754	△ 711	
経 常 利 益	3,516	4,201	△ 685	17,400
特 別 損 益	1,475	765	710	
うち貸倒引当金戻入益	1,657	—	1,657	
税引前四半期純利益	4,992	4,967	25	
法人税、住民税及び事業税(△)	13	12	1	
法人税等調整額(△)	825	877	△ 52	
四半期(当期)純利益	4,153	4,077	76	13,800
与信費用合計(△)	△ 181	1,265	△ 1,446	

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。
2. 平成21年3月期第1四半期の一般貸倒引当金繰入額は△4,242百万円となり、個別貸倒引当金繰入額2,585百万円とネットし、1,657百万円を特別利益(貸倒引当金戻入益)に計上しております。
3. 与信費用合計＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－償却債権取立益－貸出関連に係る貸倒引当金戻入益
4. (△)は損失項目です。

当第1四半期の当行の経営成績は、貸出金利息や有価証券利息などによる資金利益の増加や、個人年金保険販売などによる役務取引等利益が順調に推移しましたことから、コア業務純益は前年同期比2億14百万円増加し、56億95百万円となりました。また、貸倒引当金戻入益を特別利益に16億57百万円計上するなど、不良債権処理にかかる費用が当初の見込みを下回りました。この結果、四半期純利益は、前年同期比76百万円増加し、41億53百万円となりました。

なお、四半期純利益につきましては、平成21年3月期通期業績予想に対して、30.0%の進捗となっております。

2. 預金、貸出金の残高【単体】

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末	平成19年6月末
預金・譲渡性預金(末残)	32,329	32,421	31,565
うち預金	31,505	31,337	30,722
うち個人預金	24,742	24,429	23,733
貸出金(末残)	22,472	22,725	21,442
うち消費者ローン	7,488	7,340	6,912
うち住宅ローン	6,356	6,229	5,804

3. 預かり資産(投資信託・公共債・個人年金保険等)残高【単体】

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末	平成19年6月末
投資信託残高	1,835	1,761	2,000
公共債残高	783	782	767
投資信託・公共債合計残高	2,619	2,543	2,768
個人年金保険等	1,445	1,277	959

(注) 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

4. 自己資本比率【連結】【単体】

(紀陽ホールディングス連結、第二基準)

(単位：億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末
自己資本比率	10.37%	10.65%
Tier1比率	7.53%	7.76%
自己資本額	1,774	1,784
うちTier1	1,287	1,299
リスクアセット等	17,102	16,748
総所要自己資本額	684	669

(注) 総所要自己資本額は、リスクアセット等に4%を乗じた額であります。

(紀陽銀行単体、国内基準)

(単位：億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末
自己資本比率	9.81%	10.08%
Tier1比率	6.94%	7.15%
自己資本額	1,669	1,678
うちTier1	1,180	1,192
リスクアセット等	17,007	16,655
総所要自己資本額	680	666

(注) 総所要自己資本額は、リスクアセット等に4%を乗じた額であります。

5. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(紀陽銀行単体)

○その他有価証券の評価差額

(単位：億円)

	平成20年6月末				平成20年3月末				平成19年6月末			
	時価	評価差額		うち損	時価	評価差額		うち損	時価	評価差額		うち損
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	8,404	△201	96	297	8,237	△148	162	311	8,022	20	205	185
株式	551	△10	83	93	540	△38	97	136	749	159	193	34
債券	5,496	△63	10	74	5,620	22	60	38	5,893	△119	1	121
その他	2,355	△127	1	129	2,076	△132	3	136	1,379	△19	10	30

(注) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

○満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：億円)

帳簿 価額	平成20年6月末			平成20年3月末			平成19年6月末				
	含み損益	うち益	うち損	含み損益	うち益	うち損	含み損益	うち益	うち損		
										価額	含み損益
742	△6	1	8	859	△8	4	12	939	△7	0	8

○子会社・関連会社株式で時価のあるもの

該当ありません。

6. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」【単体】

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成20年6月末	平成20年3月末	平成19年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	293	332	322
危険債権	665	632	771
要管理債権	183	214	184
小計	1,142	1,179	1,278
(合計債権残高に占める比率)	(4.98%)	(5.09%)	(5.83%)
正常債権	21,754	21,972	20,623
合計	22,896	23,152	21,901

以 上